

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応 募 者 に 関 する 情 報

記入日：2012 年 11 月 30 日

| 応 募 者 情 報   |  |
|---|--|
| 応 募<br>団体名  | <p>(フリガナ) カブシキガイシャ エフティ カーボン</p> <p>株式会社 F T カーボン</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>   |
| 応 募<br>担当者<br>連絡先   | <p>※ご所属の企業名、自治体名、団体名をお願いします</p> <p>団体名： 株式会社 F T カーボン</p> <p style="text-align: center;">〒105-6031</p> <p>所在地： 東京都港区虎ノ門4-3-1<br/>城山トラストタワー3 1階</p> <p>部署名：</p> <p>役職名： 代表取締役</p> <p>氏 名： 富士 昌孝</p> <p>TEL： 03-6695-0089      FAX： 03-6695-5506</p> <p>E-Mail： <a href="mailto:info@ftcarbon.co.jp">info@ftcarbon.co.jp</a></p> |
| ホームページ  | —  |
| <p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>国内クレジット制度等の排出権取引制度の申請支援、カーボン・オフセット認証制度の申請支援等の地球温暖化対策に関するコンサルティング</p> |  |

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG等）や概要図（PDF等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体でA4用紙3ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL：[http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

活動名称：被災地産クレジットを活用した木下家・落合家 結婚披露宴並びに新婚旅行におけるカーボン・オフセット  
認証番号：CO2-0032

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki jun.pdf>

##### <カーボン・オフセット対象・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、○○、○○の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

2012年12月9日に開催される個人（木下家、落合家）の結婚披露宴と二次会および新婚旅行における以下のCO2排出をオフセットします。

- ① 披露宴参加者の最寄駅から披露宴会場までの交通手段の利用によるCO2排出（往復）
- ② 披露宴会場における電力使用によるCO2排出
- ③ 二次会参加者の最寄駅から二次会会場までの交通手段の利用によるCO2排出（往復）
- ④ 新婚旅行における往復の飛行機・鉄道の利用によるCO2排出（往復）

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

2012年12月8日～2013年1月7日

## <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

披露宴当日の受付にカーボン・オフセットの認証書を提示して、披露宴および二次会の参加者に対して情報提供するとともに、披露宴のプログラムの一つとして、認証書を提示しつつ口頭で今回のカーボン・オフセットの取組の概要や動機、意義について説明する時間を設けます。同様に、二次会の受付でもカーボン・オフセットの認証書を提示します。

イベント終了後もこうした活動を行ったことを機会があれば積極的に宣伝していきます。

Facebook 等の SNS を通じて今回のイベントに参加をしなかった友人・知人に対しても啓蒙を行います。

## 3. 1次審査項目

### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

#### (自己活動オフセット支援以外の場合)

##### ①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

【例】製品〇〇〇について LCA を実施、排出量は 1 製品あたり〇〇〇kg

【例】イベント開催における、関係者の交通移動、会場の使用電力量、廃棄物処理に伴う排出量、算定方法については環境省の算定ガイドラインを用いた。総量〇〇トン

##### ① 披露宴・二次会出席者の交通手段の使用による CO2 排出

- ・鉄道（在来線） 88kgCO2
- ・鉄道（新幹線） 250kgCO2
- ・航空機

国内線：7778kgCO2

国際線：2759kgCO2

- ・自家用車（軽油） 236kgCO2
- ・自家用車（ガソリン） 131kgCO2
- ・バス（軽油） 106kgCO2

##### ② 披露宴会場の空調・照明・音響の使用による CO2 排出 126kgCO2

##### ③ 新婚旅行での交通手段の使用による CO2 排出（現地までの往復）

- ・鉄道（在来線） 4.0kgCO2
- ・航空機 5519kgCO2

算定方法については環境省の算定ガイドラインを用いた。合計 16, 997kgCO2

##### ①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

【例】電力使用量、ガソリン使用量、

鉄道乗車距離、国内線・国際線利用距離、自家用車走行距離、バス乗車距離、披露宴会場の定格電力

### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電    節水    廃棄物の減量化    省電力機器の導入    公共交通機関の利用・呼びかけ

その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

### ③オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。【例】J-VER（〇%）、CER 等（△%）など

J-VER 10 t（58.8%）、国内クレジット 7 t（41.2%） 両クレジット使用で完全オフセット

### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

記載例： ○○地域連携による間伐促進型森林づくり事業、  
○○による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業、  
○○国における風力発電プロジェクト CDM プロジェクト番号・・・

J-VER：岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト

国内クレジット：株式会社アマタケの種鶏農場（細野農場）におけるボイラの更新（A 重油→木質バイオマス）

### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

J-VER：2012年12月17日 無効化予定

国内クレジット：2012年12月7日 無効化済み

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

・披露宴出席者についてはお車代の支払いを公共交通機関使用分に限ることで暗に公共交通機関使用を促しました。二次会の参加者については案内メールにてなるべく公共交通機関を使って来場するよう依頼しました。

・披露宴の食事を出される箸を使い捨てのものから持ち帰り・再利用可能なものに変更します。鏡開き後の振る舞い酒用の器は通常木製のマスを使用するが、再利用可能なガラス製シェリーグラスを使用予定です。

・CO2 排出量削減のため、式場の空調設定は通常 24 度前後であるところ、当日の披露宴会場の空調設定を 20 度に設定予定です。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。

キーワードは、「個人レベル」です。個人レベルでもできるということ、個人レベルでも大きな CO2 排出をしているということをご様にお知らせできるという点に、今回の取組の意義があります。

個人にとっては地球温暖化対策には企業や政府が取り組めばいいものと思いがちですし、「環境に配慮」というと、どうしても面倒な印象を持ってしまったり、何かを我慢させられるというイメージがあるかもしれません。たとえば、一部の人は職場のクールビズやウォームビズで必要以上の我慢を強いられることと「環境に配慮」を結び付けてしまうかもしれません。しかし、今回の取組を見ていただくと、そういった必要以上の我慢以外にも環境に配慮する手段はあるのだということ、しかもそれは個人レベルでできるのだということを、認識していただけるきっかけになるのではないかと考えています。

また、CO2 排出量という見えないものを意識するためには、算定をしてみても、示すしかありません。一個人にとっての大きなイベントである結婚には多額のお金がかかるというのは周知の事実かと思いますが、温暖化側面から捉えると実は市民イベント並みの CO2 を排出しているということ、新郎新婦様も算定して初めてご認識されました。今回の取組を通じて、個人レベルの通常の活動も、地球環境には大きなインパクトがあるのだということ、知っていただきたいと考えております。

- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

今回は結婚という人生における大イベントに関するカーボン・オフセットでした。こうも大規模なイベントは個人レベルではそう何回もあるものではありません。ですが、新郎新婦様は、カーボン・オフセットの取組を今後も続けていきたいと考えております。たとえば、新郎新婦様は旅行を趣味にされており、頻繁に自家用車や航空機を利用していましたが、今回の算定結果から、鉄道以外の交通利用に係る CO2 排出量が思ったよりも大きいことをご認識されました。これからは、家族旅行での自家用車や航空機の利用に係る CO2 排出量を定期的に（1年に1回など）算定し、オフセットしていきたいとお考えになられております。

また、個人レベルでもカーボン・オフセットを行うことができるということをもっと広く世の中に知ってもらいたいと考えています。どういう機会にオフセットできるのか、オフセットにはどれくらいのお金がかかるのか、どういった個人の活動によって CO2 排出量が多くなるのかといったことを、SNS 等を通じて情報発信し、一人でも多くの個人にカーボン・オフセットに興味を持ってもらいたいと考えています。

### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献  
今回の取り組みは個人レベルの小さなものであり、決して地域社会や産業振興に大きく貢献するものではありません。とはいえ、小さな取り組みも数が多くなれば大きな力になります。今回の取り組みが良い情報提供となってほかの個人レベルの取り組みの呼び水となって、それがいずれ大きな流れになることを期待しております。

### 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

周囲を巻き込むための工夫は、

- ・結婚式当日にカーボン・オフセットの認証書を提示、披露宴のプログラムの一つとして、認証書を提示しつつ口頭で今回のカーボン・オフセットの取組の概要や動機、意義について説明する予定にしていること
- ・結婚式終了後もこうした活動を行ったことを新郎新婦様のFacebook等のSNSを通じて啓蒙を行う予定であることが挙げられます。

### 5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。

欧米では多く行われている結婚式に関するカーボン・オフセットは、日本ではあまり事例が聞かれませんが、個人がオフセット商品を買ってオフセットするというはあっても自己活動をオフセットするというケースは少ないといわれています。

この背景には、制度の複雑さ、カーボン・オフセットの内容のわかりにくさ、費用負担の大きさなどが考えられます。

地球温暖化対策には関心があるものの、専門的な知識を持っていない個人の方々でも参加できるように、「個人レベル」でのカーボン・オフセット認証の事例が必要であると考えました。

個人がカーボン・オフセットを行う際に、必要となるデータ、必要なコスト、専門的な業者による必要最低限の支援内容などを明らかにすることで、個人レベルでの地球温暖化対策の広がりを大きくすることができると考えました。

今回、CO2排出量の算定に際して、極力、標準データを採用し、個人が提出する必要データの簡素化に努め、個人の方でも参加しやすい算定方法の確立に努めました。

一方で、課題も多く見つけました。例えば、審査費用等の申請費用やコストが個人では負担しづらい大きさにあるということです。カーボン・オフセットに関心を持つ個人であっても、カーボン・オフセット用のクレジットの調達費用以外の申請費用の大きさのために、申請を断念することが想定されます。個人の地球温暖化対策への参加への機運を低下させることにつながるため、個人レベルの申請の簡素化及び申請費用の低減が必要だと考えられます。

- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

地球温暖化対策への関心度に関わらず、老若男女が集う結婚披露宴及び二次会で、カーボン・オフセットの取り組みを発表しました。新郎新婦様は地球温暖化対策にご関心はありますが、ご家族様、ご親戚様、ご友人様は、地球温暖化対策に関心があるとは限りません。また、結婚式披露宴会場など関係者様にも、今回の取組については印象に残ったことと考えられます。

地球温暖化対策やカーボン・オフセットが身近にお感じになられていなかった方々にも、広く取組を伝えることができたと考えております。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDFの場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

**第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先**

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

(担当：入山、井上)

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail [award@carbonoffset-network.jp](mailto:award@carbonoffset-network.jp)